

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌

CELERY セロリ

2004
No.53



特集

留学生座談会

研究内容紹介『脳の右側で描け -B.エドワーズ理論の研究-』

研究トピックス『栄養学の未来』

追い風の栄養学

栄養科学部長 坂田 利家

生活習慣病という用語が、最近聞く聞かれるようになってきました。病気の発症原因が生活習慣に根ざしているという意で、例えば肥満症、糖尿病、高血圧症、高脂血症、高尿酸血症・痛風、それに脳卒中や心筋梗塞等々の疾病を総称しています。これらの病気は生活習慣だけが原因で起こってくるように受け取られ易いのですが、実際には罹りやすい人とそうでない人がいて、遺伝も大いに関与しています。だから、病名として適切かとなると問題は残るのですが、本稿ではそれには触れません。ここで申したいのは、生活習慣病はこれら一連の疾病群を類発させて生命予後を悪くする、加えて医療経済的にも大きな負担を社会に荷すことです。生活習慣病が社会的にも重要視されるようになってきた理由は、実はここにあります。

我が国における自動車の生産台数は戦後増え続け、電化製品の恩恵に浴した生活環境は過去30・40年間に急成長を遂げてきました。これに伴って平均余命も驚異的に延び、我が国は世界の最長寿国になりました。これらは生活の豊かさを象徴する指標とも受け取られます。しかし、その実態をよく調べてみると、この物質的繁栄のなかに我々の健康を蝕む危険な

病根がたつぷりと含まれ、その実態の深刻さが垣間見えてきます。なかでも、「食の破壊」とも言える食事やそれを支える食環境の激変、これなどはその冴えたる例です。「健康な食事」をどう確保するか、この課題は今や切実で、しかも緊急な解決が求められています。見方を換えると、生活習慣病をここまで蔓延させた元凶、それは食の破壊を産み出した我々にある、そう言っても過言ではありません。

管理栄養士の国家試験はその合格ラインがこの数年の間に急上昇してきました。そのため、本学はもちろんのこと、全国の栄養施設校はその対策に向け、教員も学生も四苦八苦しています。なかには、何でこんな災害が降りかかってきたのかと、不平に思っている学生もいるに違いありません。しかし、厚生労働省が管理栄養士の国家試験全面実施に踏み切るのには、それなりの理由があるのです。生活習慣病の罹患率が急上昇し、社会問題化していることはすでに述べました。その対策の一環として、先端医療や薬物開発が期待されています。でも残念なことに、こういった方法では費用がかかり過ぎ、しかも再発を防止し難いため、生活習慣病を根絶させることが出来ないのです。この

緊急課題を解決するのにもっとも効率の良い方策は、臨床栄養学の導人以外に道はありません。管理栄養士の実力を名実ともに向上させ、チーム医療に十分貢献出来る栄養士を育成すること、この対策こそが急がれるのです。国家試験のハードルが高くなる所以はここにあります。このように見えてくると、栄養士の社会的責任は今後一層重くなり、学生一人一人の心構えがいかに大切になってくるかがわかります。このことは、見方を変えたと、栄養士には明るい未来が開けようとしている、そう言っても過言ではありません。

都市化された社会では食物が氾濫し、お金さえ出せば食には瞬時にありつけ、それも昼夜を問いません。このような環境下では、物質で調節される食本来の機能は、発揮され難くなるのです。食行動を調節する脳の仕組みをみる限り、「食の破壊」をもたらした元凶は、実はこのような食環境を産み出した我々の浅知恵にある、そう言わざるをえません。この桎梏から逃れるブレイクスルーの鍵は、実は栄養士に握られている、そう社会はみなし、期待しているのです。



中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌

CELERY セロリ

2004
No.53

C O N T E N T S

リレーエッセイ 第16回
追い風の栄養学 ①

特集 留学生座談会 ③

中村学園創立50周年記念事業報告 ⑥

大学院人間発達学研究科の開設予定について ⑦

研究内容紹介『脳の右側で描けーB.エドワーズ理論の研究ー』... ⑨

研究トピックス『栄養学の未来』 ⑩

平成17年度入学試験のお知らせ ⑪

イベント&ニュース ⑬

オープンキャンパス／指導主任研修会／教育ワークショップ／公開講座
留学生受入れに関する基本協定締結／福岡県工業技術センターとの協定締結／学園往来
寄付講座開講／アジア栄養科学ワークショップ開催案内／リサイクル開催案内
教員出版物紹介／表彰のお知らせ／教職員の動き

【今月の表紙】「はかた楽劇 鴻臚館物語」(中村学園創立50周年記念事業・特別協賛)

※詳細は、本号(6頁)を参照。



中村学園大学は2003(平成15)年4月1日付で、財団法人大学基準協会より大学基準に適合しているものと認められ、正会員として認定されました。

留学生座談会

本学には現在、大学院四名、大学六〇名短期大学部二名の留学生在籍しており、自国とは異なる環境の中で、日本の学生とともに充実した学生生活を送っています。そこで今回は、その中から四名の留学生に集まって頂き、それぞれの立場から留学目的、学生生活、これからの夢などをうかがいました。



福浦 幾巳 教授
流通科学部教授、学生部長

栄養学、ビジネス、日本語 習得。留学にそれぞれの 夢を託して

福浦：本学の学生三千八百名のうち

六十八名が留学生ということで、これは非常に高い比率だと思っています。今年からは大学院流通科学研究科も設置されて、ますます門戸が広がった感があります。それでは、まず本学に留学された目的を聞かせてください。

車：…最初の目的は、日本はどんな食生活をしているのか、どんな勉強をしているのかを知りたかったからです。中国の食文化は

日本と同じものが多いけど、日本の方がずっとバランスがいいですね。今では最初の頃よりさらに日本のことを知りたいと考えています。

福浦：中国は四千年の食文化の国だから、ずっと研究もされていると思います。

車：…動物性の脂肪はどれくらい、植物性の食物はどれくらいなど、バランスを考えるのは日本の方が優れていると思います。中国は病院の給食でも、薬に頼っています。食に関してもっと進歩してもらいたいと思います。

福浦：日本は中国を通して食を学んできたけれども、逆に日本と比較してその良さを中国に知ってもらいたい、というわけですね。ほかの皆さんは流通科学部に在籍されていますが、どうですか？

矯：…私は勉強をするために来ました。昔は中国に日本人がたくさん勉強しに来ていましたが、今では日本がアジアの中で優れているため逆に中国から日本に

来ています。最初は言葉を勉強するために、実際に何を勉強するかは、具体的には考えていませんでした。大学に入って初めて、日本の社会を目で見ることで目的を持ちました。中村は大きな大学ではありませんが、先生達は、自分が分からないことを聞いたら詳しく丁寧に教えてくれます。

福浦：本学の周辺には学生数二万人の福岡大、八千人の西南大、一万四千人の九産大があり、それに比べると中村の規模は小さいと思います。しかし、五十年の歴史の中でひとり一人の学生を大切にしたいという考えが根づいており、それが本学の良さかもしれません。湯さんはどうですか？

湯：…目的のひとつは日本語を勉強したかったからです。中国で勉強することもできますが、日本の文化、日本人の考え方を深く理解したいということ、もうひとつは、日本の経済に興味がありました。日本と中国は、輸



出・輸入の長い関係があります。日本の経済は今の中国にかなり影響を与えています。日本のノウハウ、経済のシステムを勉強して、中国の経済に貢献したいと考えています。

福浦：食を通して、経済を通して、人が交流すること、特に若い人が橋渡しをすることが大切ですね。本学の流通科学部は、アジアに向けて——という視点がありますね。大学院生の宋くんは、さらなるスペシャリストを目指しているんでしょう？

宋：…留学の目的は、日本語を勉強し

たいと思ったからです。
福浦：専門的な道はこれから見つけていくということですね。

インターンシップをはじめ、現場を肌で知る授業がいっぱい

福浦：本学の学部・学科での特に関心のある授業はありますか？

矯：…ここはインターンシップや一年生の時に参加する研修など、すごく充実していると思います。夏休みに企業で体験したインターンシップでは、社長と直接お話をさせていただいたり、大学での授業とは違う経験がたたくさんできました。他の大学ではこんなチャンスは少ないと思います。

福浦：中村は本来、実学を基本としており、肌で感じて学問することを理念として掲げています。実学を具体的ににしたのが、インターンシップです。

湯：…私は大学の授業でパソコンがかなり使えるようになりました。また、昔のアジア、今のアジアのことなど、いろいろなことを知ることによって、自分の心がどんなに狭かったか、持っている知識がいかに少なかったかがわかりました。

矯：…中村ではいろいろな企業の方による授業が多く、実際の現場の話をしてくれるので、将来に



とう りさ 湯莉莎さん
流通科学部 流通科学科 1年生

ついて考える力が身に付くと思います。

福浦：技術は古くなりますからね。時代の潮流をしっかりと身につける時代に合わせてものの考え方をしているという姿勢ですね。

宋：…大学院の場合は大学と違います。先生はただ知識を与えるだけでなく、自分で考える能力を養ってくれます。私は、国際的な考え方ができるようになりました。今は資本社会、経済社会で、みんな自分の会社を作ろうとしています。私にはそんな考えは無かったけど、大学院で学んでいるうちに、グローバルな考え方をすれば社長になれる、と思うようになりました。

車：…私はいま卒論で、二〇〇四年のヘルスチェックをアンケートにして統計をとっています。大学は先生から教えてもらうだけでなく、何を勉強したいか自分から見つけていくところです。自分から頑張って勉強すればわからないところもだんだんわかるようになります、すごくうれ

言葉の壁、アルバイト、心の問題…苦労は多いけれど、目標に向かって頑張りたい

しく感じました。
福浦：さて、皆さんが一番苦労されていることを聞かせてください。

車：…言葉に一番苦労しました。日本語は喋れるけど、レポートを作成するのが難しいです。それと日本語の意味はわかるけど中国語ではどういうか、というのがあります。「コレステロール」とか。専門的な言葉をもっと理解したいと思っています。

矯：…私にとつての苦労は、心の変化です。中国の考え方をずっと持っていては日本には居られません。心を変えて、自分を失わずに文化に接する気が大切なんです。知り合いの留学生の中には、中国の輪を作って日本人達とあまり接していない人もいます。でもそれでは自分が成長しないし、留学した目的が果たせないと思います。たくさんの人と出逢うチャンスがあれば人脈も広がると思います。

福浦：情報は平等に与えられるけど、それをつかむのはその人次第。その人のインテリジェンス。それが積極性ということでしょう。湯さんはどうですか？

湯：…私の場合は学校のことではなくて、日常生活のことです。

歯の治療とか、美容室とか、とても困ります。(笑)自分の気持ちを、相手に伝えることは、とても難しいです。歯医者さんに痛いところを伝えることができて、我慢したり、美容室では雑誌を見せて、「これにして」と言っています。

福浦：言い方をまちがえると、変な髪型にされてしまいますからね。(一同爆笑)

宋：…私の場合は、もう涙腺です。(笑)生活と授業料のためにアルバイトをしますが、そのアルバイト先で冷たいことを言われて悲しい思いをたくさんしました。福浦：日本に来て、昼間は大学、夜はアルバイト。でも、制約のある中で一度涙を流すことの大切さを知ることは大きいですよ。冬の寒さを知るから、春の暖かさがかかるんです。

宋：…そうですね、それがあから、今の自分があると思います。矯：…父や母の時代は、文化大革命の時代で、私たちの留学生生活よりもっとつらかったと思います。



きょう けん 矯健さん
流通科学部 流通科学科 3年生

日本の学生は、 見かけによらず勉強家

福浦：ところで、同世代の日本の学生を見てどう思いますか？

矯：…私から見ると、幼稚な面があり、心が成長していない人が多いと思います。そういう人達が、将来の日本を支えていくのは大変だと思います。

福浦：社会が豊かになると、明日もある、あさってもある、とつい甘えてしまいます。日本ではフリーターでも生きていけますからどうしたら目的意識を持たせられるか。でもそれは親や教師がすることではなくて、自分で気づいて、自分でつかみ取っていくものでしょうね。

車：…私の眼から見ると、みんな勉強してないようで頑張っていると思います。わからないところは図書館でちゃんと調べたり、しっかり勉強しています。最初はチャラチャラしてると思っ



しゃ い 車 瑋 さん
家政学部 食物栄養学科 4年生



そう ぶん ひん 宋 文彬 さん
大学院 流通科学研究科 1年生

たけど(笑)だから管理栄養士の国家試験の模擬試験の成績も優秀です。
宋：確かに中村の管理栄養士の合格率は高い！

ひとりひとりが、 中国と日本、 そしてアジアをつなぐ マンパワーに

福浦：さて最後に、皆さんの今後の夢を聞かせてください。

矯：…私はソフトパワーを広げたいです。二十世紀はハードパワー、二十一世紀はソフトパワーの時代です。会社を創ったり、社長になったりするのには、手段です。具体的には人に影響力を与えるような立場になって、ソフトパワーを通じてアジアの漢字圏のコミュニケーションをはかり、その上に経済が立ってみんな豊かになっていければいいと思います。

車：…私は卒業したら中国に帰ります。

オリンピックもあるし、中国はバブルです。これからは中国の時代になると思います。人間は、食が、自分の体が、いちばん大事です。中国はもともと自分の体のことを考えないといけないと思います。ホームページを作って、栄養指導していきたいと思っています。

福浦：日本も、戦後はみんな貧しくてごはんが食べられなかったんです。それがいま経済が豊かになって、飽食と言われていいます。中国も経済が豊かになり、車さんの考えていることが役に立つ時が来るでしょう。

湯：…私も卒業したら帰るつもりです。日本で経験したこと、経済も文化も、中国に持って帰って、中国と日本の昔の歴史で対立している人達の間に共通のものを見つけてあげて、平和の橋が架けられるようになりたいです。

宋：…私も湯さんと同じことを考えています。体験したことを持って帰って、日本と対立している人達に伝えたいです。

矯：…みんなの話を聞いて思ったことは、それを



成しとげるのは、個人の力では難しいということです。日本との対立をなくすのもひとりではできません。チームワークが必要です。私は留学生の自治会を作り、中村から、福岡、九州に広げていきたいと思っています。
福浦：皆さん、日本の地にしつかり足を着けていて、とても感心しました。私たちも応援しますからいつでも相談に来てください。本日はどうもありがとうございます。

中村学園創立50周年記念事業の報告

学園創立50周年事業のうち、本年7月から9月に実施された事業について報告いたします。

1 アジアユースオーケストラ in Fukuoka

(※特別協力)

〔8月23日(月)：アクロス福岡・福岡シンフォニーホール〕

アジアユースオーケストラ福岡公演が8月23日(月)に福岡市中央区の福岡シンフォニーホールにおいて開催されました。アジアユースオーケストラはアジア各国で行なわれる厳しいオーディションを合格した、若き才能ある音楽家たちにより編成され、毎年アジア各国においてコンサートツアーを行ないますが、今年は9年ぶりに福岡にも訪れました。福岡公演では、ベルリオーズ作曲の序曲「海賊」、ドビュッシーの交響詩「海」などが演奏されましたが、メンバーたちはいずれも高い演奏技術を誇る屈指のメンバーとあつて、アンサンブルも素晴らしく、そのスケールの大きな演奏に観客全員が魅了されていました。また、メンバーたちは滞在期間中、ホストファミリーとの交流も行い、音楽を通じて親睦を深めていました。



2 はかた楽劇 鴻臚館物語

(※特別協賛)

〔9月17日(金)・18日(土)：福岡市舞鶴公園内鴻臚館跡特設ステージ〕

古典芸能などを一堂に集めた野外劇「はかた楽劇 鴻臚館物語」が9月17日(金)・18日(土)に福岡市中央区舞鶴公園内の特設舞台において上演されました。千三百年前の外国使節の迎賓館だったといわれる鴻臚館の跡地に設置された舞台では、古代の仮面舞踏劇である「伎楽」を復興した「真伎楽」をはじめ、「筑紫舞」、「能」、「狂言」、「博多松囃子」など12演目が披露されましたが、会場に詰めかけた観客は幽玄で華麗な舞台に見入っていました。この公演では、地元福岡で活躍している伝統芸能の方々や演劇関係者とともに、本学園の大学生と三陽高校の生徒及び教職員の有志も市民参加者として出演しました。演目は鎌倉時代に筑後地方を中心に広まったとい

3 「いのちの詩集」の募集

われら幻の民衆芸能である「美麗田楽」で、本公演の総合プロデューサーである故野村万之丞氏が再現した踊りを夏休みに1か月懸けて練習し、本番では出演者全員が熱のこもった踊りを披露しました。

学園創立50周年記念式典、はかた楽劇鴻臚館物語への参加に続く学生・生徒参加事業の一環として、学園で学んだことや学園の中村ハル先生に対する思いなどを「こころ」というテーマで、詩や絵といった形で表現してもらい、8月1日～8月31日の間で募集を行いました。夏休み期間中ではありましたが、学園各中学校・幼稚園から多くの作品が寄せられました。現在、各学校から選出された審査委員の先生方が作品一つ一つを厳正に審査し、11月10日の「こころの詩集(仮称)」発刊に向けて編集作業を行っているところです。優秀作品には表彰状と記念品が授与される予定です。

4 創立50周年記念講演会

(第1回)

〔9月25日(土)：エルガーホール・大ホール〕

9月25日(土)、創立50周年記念講演会が福岡市中央区天神のエルガーホール・大ホールで開催されました。この記念講演会は地域の皆様方を対象として全3回開催されるもので、第1回目となる今回は鈴鹿国際大学短期大学部学長の佐治晴夫氏を講師として、「詩人の心と科学の目」最新宇宙論の視座から「いのち」を考える」と題して講演が行われました。佐治学長は、詩人の金子みすゞや谷川俊太郎の詩をおりませながら、「相手の立場を考えることで初めて相手を理解することができる。戦争をなくすためにも相手の心を理解することができ、戦争をなくすためにも相手の心を理解することのできる情緒の力が必要であり、それが教育の原点である。」などと話されました。なお、この記念講演会は引き続き第2回目が10月23日(土)、第3回目が11月27日(土)に開催されます。

中村学園創立50周年記念講演会のご案内

本誌前号でもお知らせいたしましたとおり、学園創立50周年記念行事の一環として全3回の記念講演会を開催いたしております。つきましては、第3回(最終回)の講演会を下記のとおり開催いたしますので、多数ご来聴くださいますようお願い申し上げます。

1. プログラム

- 開催日時 平成16年11月27日(土)
午後2時～午後3時30分(開場午後1時30分)
- 場 所 エルガーホール・大ホール(エルガー北8階)
福岡市中央区天神1丁目4番2号
TEL.092-711-5017
- 講演テーマ 『いのちの食紀行』
- 講 師 作家 立松和平氏
- 申込期間 平成16年11月1日(月)～11月11日(木)

2. 申し込み方法

- お申し込みは、官製はがき・ファックスにて、住所・氏名・電話番号を明記のうえ、申し込み期間内をお願いいたします。お電話でのお申込み承ります。
- 定員(500人)になり次第、締め切らせていただきます。
- 受講料は、無料です。

3. 申し込み・問い合わせ先

中村学園創立50周年記念講演会運営事務局(株式会社大広九州内)
〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目4番2号 エルガー11階
TEL 092-762-7587(受付時間10:00～17:00/土・日・祝休)
FAX 092-762-7550(24時間受付)

平成17年4月 大学院に新しく 「人間発達学研究科(修士課程)」 が誕生します！

(※設置認可申請中)

本学では、平成17年4月から、現在の大学人間発達学部を基礎とする「大学院人間発達学研究科(修士課程)」を開設する予定です。
(設置認可申請中)

そこで本号では、研究科の教育課程や教育方法の特色、また募集要項などについてお知らせいたします。

- 入学定員…5名 収容定員…10名
- 修業年限…2年、ただし教育上必要があると認められる場合には、本学大学院研究科委員会の議を経て、2年を超える修業年限を認めることがある。
- ※昼夜開講制
- 課程修了要件…修士課程に2年以上在学し、履修授業科目について30単位以上を取得し、かつ必要な研究指導を受けた後、修士論文の審査及び最終試験に合格した者には、学位を授与する。ただし、在学期間に関しては、特に優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。
- 学位の種類…修士(人間発達学)

1 人間発達学研究科の特色

人間発達学研究科(修士課程)は、研究指導を中心としながらも、大学院修士課程に対する社会的要請ならびに専門家養成に対する、教育、保育、福祉などの各分野からのニーズに応えて、子育て支援や学校、施設での幼児・児童の健全な発達を支援する、発達科学の専門家を養成することを目標としています。その教育課程は、基礎となる学部である本学「人間発達学部」の研究教育分野と連動させ、研究指導とともに、学校、地域社会などで発達支援の実践を行える専門職を養成することを基本方針として編成しています。人間発達学研究科は、従来の教育学、

保育学、心理学の教育、研究アプローチを基盤としながら、特に幼児・児童の発達とその支援にかかわる諸問題を学校・施設・家庭・地域などの領域において、実証的、科学的かつ実践的に分析し、問題解決する能力の育成をその基本課程としています。幼児、児童を中心とした人間の発達とその支援について幅広く理解しつつ、人間発達学についてより高度に専門的に学べるように、専門体系を次の二つの系統に分けて教育課程を編成しています。

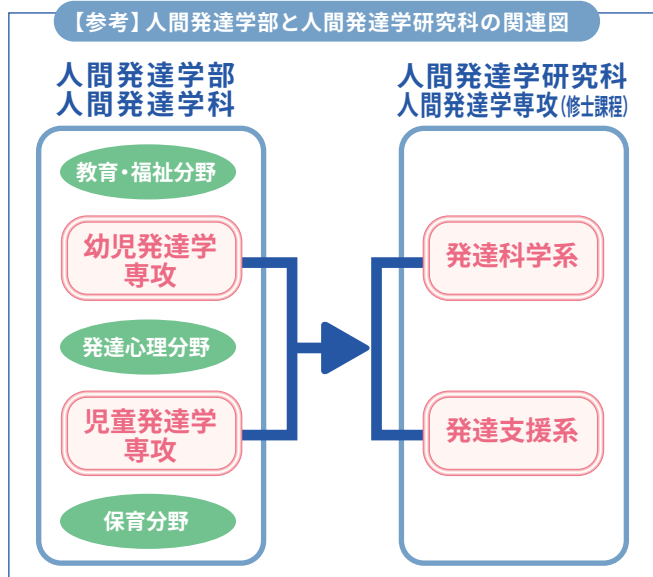
(1) 発達科学系

発達科学系は、とくに幼児・児童の心身の発達について、より高度で専門的な研究を行う系統です。幼児・児童が発達する過程を心理学的、教育学的、保育学的なアプローチで探究するとともに、それを踏まえた高度の保育技術・教育技術についても実践的な観点から研究します。

(2) 発達支援系

発達支援系は、幼児・児童の発達過程およびそれについての心理学的、

【参考】人間発達学部と人間発達学研究科の関連図



教育学的・保育学的な研究を基礎に、子どもを取り巻く新たな社会的課題に 대응して、幼児・児童および家庭への支援の理論と技術を研究する系統です。とくに家庭への「子育て支援、虐待や、問題行動、障害児などに関して科学的に分析し、カウンセリングやケースワークの技術などを実践科学的に研究します。また、幼児・児童への発達をよりよく支援するための環境としての、学校、施設などの組織運営や組織開発をマネージメントする理論と技法を研究するとともに、発達支援のための政策提言について政策科学的なアプローチで研究を行います。

2 人間発達学研究科の教育課程

系	授業科目名	単位数 必修選択
発達科学系	教育心理学特論	2
	教育社会学特論	2
	教育制度論特論	2
	人間発達形成史特論	2
	保育課程特論	2
	保育表現演習	2
	教育課程特論	2
	教育技術演習	2
	身体運動発達特論	2
	運動教育演習	2
発達支援系	臨床心理学特論	2
	認知発達支援論	2
	言語発達支援論	2
	対人発達支援論	2
	家族発達支援論	2
	臨床精神医学	2
	教授学習支援論	2
	発達支援政策特論	2
	発達支援実習研究	2
	発達支援実習	2
共通	人間発達学特論	2
	発達心理学特論	2
	人間発達学特別研究	8
	情報数理解析論・実習	2
	人間発達学研究方法論	2
開講単位数 計		12 44 56

3 人間発達学研究科の募集要項(予定)

★ 入試日程、選考方法、出願手続き等詳細については、必ず「学生募集要項」にて確認してください。(募集要項は、本学入試課にご請求ください。)

(1) 入学定員及び収容定員

課程
修士課程(昼夜開講制)
研究科
人間発達学研究科
専攻
人間発達学専攻
入学定員
5名
収容定員
10名

(2) 入学資格

〔試験入学選考〕

次の(1)～(8)のうちいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第52条に定める大学を卒業した者または平成17年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第68条の2第3項の規定に基づき、大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与さ

れた者または平成17年3月までに授与見込みの者

- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者または平成17年3月までに修了見込みの者

但し、大学卒業までの学校教育課程が16年に満たない国において大学を卒業した者は、これに相当する者とする。

- (4) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日 文部省告示第5号)

- (5) 大学に3年以上在学し、本大学院研究科が指定する所定の科目及びその単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

- (6) 幼稚園教諭2種免許状を有し、幼稚園で3年以上勤務した経験のある者

- (7) 保育士資格を有し、保育所等、児童福祉施設で3年以上勤務した経験のある者

- (8) 22才に達した者または平成17年

4月1日までに22才に達する者で、本大学院研究科の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
但し、出願資格審査を希望する者は、出願受付開始日の30日前までに入試課へ連絡後、所定の書類を提出すること

〔推薦入学選考〕

学校教育法第52条に定める大学を平成17年3月までに卒業見込みの者を対象とする。

※ 社会人特別選考及び外国人留学生特別選考については、出願資格・手続等の方法が違うのであらかじめ入試課へ問い合わせてください。

(3) 入試日程

	推薦入学選考	試験入学選考 社会人特別入学選考
出願期間	平成16年11月29日(月) ～12月8日(水)	平成17年1月21日(金) ～1月31日(月)
試験日	平成16年12月14日(火)	平成17年2月21日(月)
合格発表日	平成16年12月18日(土)	平成17年3月3日(木)

(4) 選考方法

〔推薦入学選考〕

下記の面接試験及び研究計画書等提出書類を総合して決定する。

試験科目		試験時間
I	小論文	10:00～11:00(60分)
II	面接	11:30～
	口頭試問(研究計画書を中心として行う。)	

〔試験入学選考〕

下記の筆記試験、面接試験及び研究計画書等提出書類を総合して決定する。

試験科目		試験時間
I	※専門科目	10:00～11:00(60分)
II	英語	11:30～12:30(60分)
III	面接	13:30～

4 奨学金制度

大学院生の研究を奨励し大学院教育の振興に資するため、本学独自の「中村学園大学大学院奨学金」が設けられています。選考のうえ奨学生として決定した大学院生には、入学金の2分の1の額(本学卒業生は全額)、授業料及び維持・充実費の3分の1の額が給付されます。

※専門科目は左記の中から1科目選択のこと

- ① 教育学 教育原理 教育社会学 教育方法学 教育史
- ② 発達・教育心理学 ③ 教科教育
- ④ 保育内容 ⑤ 児童福祉

脳の右側で描け —B. エドワーズ理論の研究—

短期大学部 幼児保育科 講師 古賀 和博

様々な社会的不信感や先行き不安感のある混沌とした現代社会で、個人として今の時代をよりよく生きていくために、一人一人が持っている様々な能力をいかに高めるか—どうすれば「創造性」が高められるか—、ということについては、誰しも関心があるのではないのでしょうか。個人や企業のそうした“能力開発”ニーズの高まりを背景に、近頃ではよく「右脳を使った…」「左脳型…」などという言葉を目にすることが多くなってきました。やはり創造性の鍵を握るのは「脳の働き」ということでしょうか。

特に「右脳」については、もはやブームともいえるような盛り上がりで、書籍始めTVのプログラムに至るまで、様々なメディアで扱われ、人々の関心の高さを伺わせます。ところが私たちは普段、「脳の左右差」を全く気にすることなく生活しており、右脳だの左脳だのと言われてもピンと来ない人も多いでしょう。

大脳生理学の研究では、確かに脳の左右の半球には機能分化が存在することが分かっています。そして右脳をテーマにしたいいくつかの書籍や論文の根拠を調べてみると、全てカリフォルニア工科大学心理生物学部門のロジャー・スペリー教授の分離脳研究にたどり着きます。彼はその研究の業績によって1981年にノーベル医学・生理学賞を受賞しています。そこから機能分化の研究もスタートし、少しずつ脳全体の機能も解明されてきていますが、「人間は生きている間に脳のわずか3%しか使わない」と言われ、使われていない部分にどういった能力があるのかはまだ解明されておらず、ほとんどは未知のベールに包まれているわけです。よく言われるよう

に「左脳は言語脳で論理的思考、右脳はイメージ脳だから感性的思考」と割り切れるほど、実は単純ではないのです。しかし、これまでの学校教育が左脳偏重であったことの弊害も指摘されはじめており、もしかしたら未来において、学校教育は最新の脳科学をもとにプログラムされる…なんていう日が来ないとも限りません。

いかに「創造性」を育むかというのは、教育に携わる者にとって常に大きなテーマですが、「脳の右側で描け」の著者、B. エドワーズ(カリフォルニア州立大学教授)は、前述のロジャー・スペリーの研究にヒントを得て、写実的な絵を描くために必要な基本技能について理論化し、さらに右脳と創造性についての関連を研究することで独自の指導法を開発し、高く評価されています。

私はこのB. エドワーズの理論を研究し、右脳が扱う「視覚言語」は美術的な活動によって育まれていくと考え、その方法論を部分的に演習の中に取り入れた授業を行っています。将来的には学校教育の現場でもこうした理論に基づく実践が広く認知されていくことを望みたいと思いますが、それ以前に私自身の「創造的思考」をいかに育むか、も当面の課題といったところでしょうか。



■プロフィール

1965年北九州市生まれ。福岡教育大学大学院教育学研究科修士課程美術教育専攻修了。1991年宗像高等学校常勤講師、1992年福岡市公立学校教諭、1995年岐阜市立女子短期大学専任講師を経て、2002年より現職。専門分野は美術教育、基礎造形、造形作品制作。日本基礎造形学会、造形教育九州学会会員。

栄養学の未来

大学院 栄養科学研究科 教授 津田 博子

昨年春に、ヒトゲノム計画が完了したことが大きく報道されました。ヒトゲノム計画とは、ヒトのDNAに書き込まれている遺伝情報を明らかにしようとする試みです。具体的には、DNAを構成している約30億個の塩基の配列を解読する作業で、米国・ヨーロッパ・日本など多くの国の協力により達成されました。

ヒトゲノム計画の完了により、「病気のかかりやすさ」や「薬のききやすさ」などの個人差(体質)が、どうして起こるのかを明らかにすることが可能となってきました。これらの体質は、DNAの塩基配列のわずかな違い、すなわち一塩基多型(SNP: スニップ)によると考えられています。現在、世界各国でこの体質の解明をめざした研究が活発に行われています。

わが国でも平成12年から国の施策として、「ミレニアム・ゲノム・プロジェクト」が始まりました。ミレニアム・ゲノム・プロジェクトでは、糖尿病、高血圧、がん、痴呆などについて、日本人独自の体質を明らかにし、「テーラーメイド医療」の実現や、画期的な新薬の開発を目指しています。テーラーメイド医療とは、「病気のかかりやすさ」や「薬のききやすさ」などの体質の違いに応じて、最適の予防法や治療法を選び分ける医療で、これから5～10年で一気に普及するものと予想されています。

糖尿病、高血圧、がんなどの生活習慣病では、成長期から成人・高齢期に至るまでの生活習慣が病気の発症に大きく関わっています。したがって、それぞれの人について「病気のかかりやすさ」を診断し、それに応じて生活習慣を改善することが、病気の予防や治療にきわめて効果的です。

食生活は運動習慣と並んで、最も重要な生活習

慣です。食生活による健康増進や疾病予防をめざす「栄養学」は、今後の生活習慣病のテーラーメイド医療に大きく貢献するものと期待されます。そして、「栄養学」の専門家である栄養士、管理栄養士が担うべき役割は、今までにも増して重要になるものと思われます。

そのような状況の中で、平成12年に栄養士法が改正され、管理栄養士の業務が従来からの給食管理に加えて、傷病者や健康増進のための栄養指導であることが明確化されました。それに伴い、管理栄養士免許が国家免許となり、管理栄養士養成のためのカリキュラムも、チーム医療の一員としての栄養専門家の育成を主眼としたものに改正されました。さらに、学校教育法が改正され、平成17年度から栄養教諭制度が創設されることになりました。栄養教諭制度は、成長期の子供たちに食に関する指導を行い、生活習慣病発症の予防を目的としており、栄養教諭には栄養士または管理栄養士の資格が求められています。

少子高齢化が加速するわが国においては、生活習慣病の予防と治療は至上命題ともいえます。したがって、21世紀の医療では、予防医学としての栄養学の実践が、ますます求められるものと思われます。



■プロフィール

鹿児島大学医学部医学科卒業。九州大学大学院医学研究科博士課程単位修得後退学。医学博士。米国テキサス大学医学部研究員、三信会原病院内科、九州大学医学部附属病院検査部助手、同大学院医学系臨床分子医学講座講師を経て、2000年より現職。専門は血液凝固学、栄養学

平成17年度入学試験のお知らせ

中村学園大学

■ 栄養科学部 ■

1.募集学科・入学定員・募集人員

学 科	入学定員	推薦入学選考募集人員		試験入学選考 募集人員	センター試験利用 募集人員
		公 募 制	併 設 高 校		
栄養科学科	200名	65名	25名以内	100名	10名(前期)

2.出願資格

推 薦 入 学 選 考	試 験 入 学 選 考
① 向学心が強く、本校の教育方針に賛同する者。 ② 調査書記載の「全体の定評平均値」が3.6以上の者。 ③ 平成17年3月高等学校若しくは中等教育学校卒業見込みの者で、学校長が推薦する者。 ◎出願にあたって…合格の場合、必ず入学することを条件とする。	① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成17年3月卒業見込みの者。 ② その他文部科学省令により、上記と同等以上の学力があると認定された者。

3.日程及び選考

推 薦 入 学 選 考			試 験 入 学 選 考		
出願期間	平成16年11月1日(月)～10日(水)	選 考 日 平成16年11月18日(木)	出願期間	平成17年1月6日(木)～21日(金)	選 考 日 平成17年2月2日(水)
選 考 科 目	I.小論文	10:00～11:30 (90分)	選 考 科 目	I.国 語	10:00～11:00 (60分)
	II.面 接	12:30～		II.英 語	11:45～12:45 (60分)
選 考 場	本学(福岡)				III.選択科目
選 考 方 法	調査書・小論文及び面接による総合評価とする。なお、面接は学科の教育目的・目標に適合するかどうかを重視する。		選 考 場	本学(福岡)・広島・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島	
選 考 方 法			選 考 方 法	3科目の合計得点(各科目100点、300点満点)による。	
合格者発表	平成16年11月26日(金)		合格者発表	平成17年2月14日(月)	
■高校時代の活動の中でも、次の6項目については推薦入学選考の際に特に考慮する。 ○生徒会会長経験者 ○文化活動の全国大会での優秀な成績保持者 ○全国高校総体出場者 ○ボランティア活動 ○TOEFL 450点以上 ○実用英語技能検定(英検)2級以上			※①国語(国語Ⅰ・Ⅱ(漢文を除く)) ②英語(英語Ⅰ・Ⅱ) ③選択科目 下記の中から1科目を選択 ◎数学(数学Ⅰ・Ⅱ、数学A(数と式のみ)) ◎化学[化学Ⅰ・Ⅱ] ◎生物[生物Ⅰ・Ⅱ]		

■ 人間発達学部 ■

1.募集学科・入学定員・募集人員

学 科	学 科	入学定員	推薦入学選考募集人員		試験入学選考 募集人員	センター試験利用 募集人員
			公 募 制	併 設 高 校		
人間発達学科	幼児発達学専攻	100名	36名	9名以内	50名	5名(前期)
	児童発達学専攻	50名	15名	5名以内	27名	3名(前期)

2.出願資格

推 薦 入 学 選 考	試 験 入 学 選 考
① 向学心が強く、本校の教育方針に賛同する者。 ② 調査書記載の「全体の定評平均値」が3.4以上の者。 ③ 平成17年3月高等学校若しくは中等教育学校卒業見込みの者で、学校長が推薦する者。 ◎出願にあたって…合格の場合、必ず入学することを条件とする。	① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成17年3月卒業見込みの者。 ② その他文部科学省令により、上記と同等以上の学力があると認定された者。

3.日程及び選考

推 薦 入 学 選 考			試 験 入 学 選 考		
出願期間	平成16年11月1日(月)～10日(水)	選 考 日 平成16年11月18日(木)	出願期間	平成17年1月6日(木)～21日(金)	選 考 日 平成17年2月2日(水)
選 考 科 目	I.小論文	10:00～11:30 (90分)	選 考 科 目	I.国 語	10:00～11:00 (60分)
	II.面 接	12:30～		II.英 語	11:45～12:45 (60分)
				III.選択科目	13:45～14:45 (60分)
選 考 場	本学(福岡)		選 考 場	本学(福岡)・広島・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島	
選 考 方 法	調査書・小論文及び面接による総合評価とする。なお、面接は学科の教育目的・目標に適合するかどうかを重視する。		選 考 方 法	3科目の合計得点(各科目100点、300点満点)による。	
合格者発表	平成16年11月26日(金)		合格者発表	平成17年2月14日(月)	
			※①国語(国語Ⅰ・Ⅱ(漢文を除く)) ②英語(英語Ⅰ・Ⅱ) ③選択科目 下記の中から1科目を選択 ○数学(数学Ⅰ・Ⅱ、数学A(数と式のみ)) ○化学(化学Ⅰ・Ⅱ) ○生物(生物Ⅰ・Ⅱ) ○地理(地理Ⅰ・Ⅱ) ○日本史(日本史Ⅰ・Ⅱ) ○世界史(世界Ⅰ・Ⅱ)		

■ 流通科学部 ■

1.募集学科・入学定員・募集人員

学 科	入学定員	推薦入学選考募集人員			試験入学選考 募集人員	センター試験利用募集人員		外国人留学生 募集人員
		公 募 制	併 設 高 校	指 定 高 校		前期	後期	
流通科学科	190名	15名	30名以内	50名	75名	7名	3名	10名

2.出願資格

推 薦 入 学 選 考	試 験 入 学 選 考
① 向学心が強く、本校の教育方針に賛同する者。 ② 調査書記載の「全体の定評平均値」が3.4以上の者。 ③ 平成17年3月高等学校若しくは中等教育学校卒業見込みの者で、学校長が推薦する者。 ◎出願にあたって…合格の場合、必ず入学することを条件とする。	① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成17年3月卒業見込みの者。 ② その他文部科学省令により、上記と同等以上の学力があると認定された者。

3.日程及び選考

推 薦 入 学 選 考			試 験 入 学 選 考		
出願期間	平成16年11月1日(月)～10日(水)	選 考 日 平成16年11月18日(木)	出願期間	平成17年1月6日(木)～21日(金)	選 考 日 平成17年2月1日(火)
選 考 科 目	I.小論文	10:00～11:30 (90分)	選 考 科 目	I.国 語	10:00～11:00 (60分)
	II.面 接	12:30～		II.英 語	11:45～12:45 (60分)
				III.選択科目	13:45～14:45 (60分)
選 考 場	本学(福岡)		選 考 場	本学 (福岡)・広島・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島	
選 考 方 法	調査書・小論文及び面接による総合評価とする。なお、面接は学科の教育目的・目標に適合するかどうかを重視する。		選 考 方 法	3科目の合計得点(各科目100点、300点満点)による。	
合格者発表	平成16年11月26日(金)		合格者発表	平成17年2月14日(月)	
■高校時代の活動の中でも、次の6項目については推薦入学選考の際に特に考慮する。 ○全商簿記1級以上 ○日商簿記2級以上 ○情報処理技能検定2種以上 ○実用英語技能検定(英検)2級以上 ○TOEIC 450点以上 ○生徒会会長経験者 ○文化活動の全国大会での優秀な成績保持者 ○全国高校総体出場者 ○ボランティア活動 ○その他			※①国語(国語Ⅰ・Ⅱ(漢文を除く)) ②英語(英語Ⅰ・Ⅱ) ③選択科目 下記の中から1科目を選択 ◎数学(数学Ⅰ・Ⅱ、数学A(数と式のみ)) ◎地理(地理Ⅰ) ◎日本史(日本史Ⅰ・Ⅱ) ◎世界史(世界Ⅰ) ◎政治・経済		

■ 大学入試センター試験利用入学試験 ■

1. 募集人員

学 部	学 科	専 攻	募 集 人 員	
			前期日程	後期日程
栄養科学部	栄養科学科	—	10名	—
人間発達学部	人間発達学科	幼児発達専攻	5名	—
人間発達学部	人間発達学科	児童発達専攻	3名	—
流通科学部	流通科学科	—	7名	3名

2. 出願資格

次の(1)または(2)の要件を満たし、「平成17年度大学入試センター試験」において、本学が指定する教科・科目を受験した者。

(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成17年3月卒業見込みの者。

(2) その他文部科学省令により、上記と同等以上の学力があると認定された者。

※平成16年度大学入試センター試験の成績の利用はできない。

3. 出願期間

前期日程 平成17年1月6日(木)～21日(金)

後期日程 平成17年2月21日(月)～3月4日(金)

4. 選考方法

(1) 平成17年度大学入試センター試験の成績を基に判定する。なお、前年度の成績は利用できない。

(2) 本学の個別学力試験は課さない。

<試験科目> Ⅰ. 小論文

種別	学 部	教 科	科 目		配点	合 計
前期日程	栄養科学部	国 語	「国語Ⅰ・国語Ⅱ」		100点	300点 国語、外国語は 100点に換算する。
		外 国 語	「英語」		100点	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目選択	2教科から1科目選択。2教科・科目以上受験した場合は、高得点科目を合否判定に使用する。	100点	
		理 科	「化学ⅠB」「生物ⅠB」			
	人間発達学部	国 語	「国語Ⅰ・国語Ⅱ」		100点	300点 国語、外国語は 100点に換算する。
		外 国 語	「英語」		100点	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目選択	4教科から1科目選択。 2教科・科目以上受験した場合は、 高得点科目を合否判定に使用する。	100点	
		理 科	「物理ⅠB」「化学ⅠB」「地学ⅠB」「生物ⅠB」			
		地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」			
		公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」			
流通科学部	国 語	「国語Ⅰ・国語Ⅱ」		100点	300点 国語、外国語は 100点に換算する。	
	外 国 語	「英語」		100点		
	数 学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目選択	3教科から1科目選択。 2教科・科目以上受験した場合は、 高得点科目を合否判定に使用する。	100点		
	地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」				
	公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」				

5. 合格発表

前期日程 平成17年2月14日(月)

後期日程 平成17年3月11日(金)

本学に掲示する。また、電話・携帯電話・パソコンを利用した合否案内システム、および本学公式ホームページでも行う。

(合格者には、後日、合格通知を速達便にて送付する。)

中村学園大学短期大学部

1. 募集学科・入学定員・募集人員

学 科	入学定員	推薦入学選考募集人員				試験入学選考 募集人員
		公 募 制	併 設 高 校	指 定 校	自己推薦制	
食物栄養科	150名	90名	15名以内	—	—	45名
家政経済科	150名	10名	10名以内	105名	15名	10名
幼児保育科	190名	110名	20名以内	—	—	60名

2. 出願資格

推 薦 入 学 選 考	試 験 入 学 選 考
① 向学心が強く、本校の教育方針に賛同する者。 ② 調査書記載の「全体の定評平均値」が食物栄養科・幼児保育科は3.2以上、家政経済科は3.0以上の者。 ③ 平成17年3月高等学校若しくは中等教育学校卒業見込みの者で、学校長が推薦する者。 ◎出願にあたって…合格の場合、必ず入学することを条件とする。	① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成17年3月卒業見込みの者。 ② その他文部科学省令により、上記と同等以上の学力があると認定された者。

3. 日程及び選考

推 薦 入 学 選 考			試 験 入 学 選 考		
出 願 期 間	平成16年11月1日(月)～10日(水)	選 考 日 平成16年11月19日(金)	出 願 期 間	平成17年1月6日(木)～21日(金)	選 考 日 平成17年2月3日(木)
選 考 科 目	Ⅰ. 小論文	10:00～11:30 (90分)	選 考 科 目	Ⅰ. 英 語	10:00～11:00 (60分) (全学科必須)
	Ⅱ. 面 接	12:30～		Ⅱ. 国 語	11:45～12:45 (60分) (家政経済科・幼児保育科必須)
選 考 場	本校(福岡)		選 考 場	Ⅱ. 選択科目	11:45～12:45 (60分) (食物栄養科のみ)
選 考 方 法	調査書・小論文及び面接による総合評価とする。なお、面接は学科の教育目的・目標に適合するか否かを重視する。		選 考 方 法	本校(福岡)・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島	
合格者発表	平成16年11月26日(金)		合格者発表	2科目の合計得点(各科目100点、200点満点)による。	
■ 幼児保育科の出願希望者は、選考において音楽実技テストを課さないが、幼稚園教諭や保育士を志す者として、入学時にバイエル教則本40番までを演奏することができ、かつコールユーブンゲン3度音程を歌えることが望ましい。			※◎英語(英語Ⅰ・Ⅱ) ◎国語(国語Ⅰ・Ⅱ(古文、漢文を除く)) ○選択科目(食物栄養科のみ)→下記の中から1科目を選択 ◎国語(国語Ⅰ・Ⅱ(古文、漢文を除く)) ◎化学(化学ⅠB) ◎生物(生物ⅠB) ■ 共通科目(英語及び国語の2科目)で受験した場合、すべての学科において第2志望を認める。 ■ 家政経済科の出願希望者は、選考において音楽実技テストを課さないが、幼稚園教諭や保育士を志す者として、入学時にバイエル教則本40番までを演奏することができ、かつコールユーブンゲン3度音程を歌えることが望ましい。		
■ 家政経済科指定校制、自己推薦制推薦入学選考の実施については、別に定める。					

外国人留学生、帰国子女、社会人の入学試験の実施については別に定めます。詳細は入試課(Tel092-851-2531)までお問合せください。

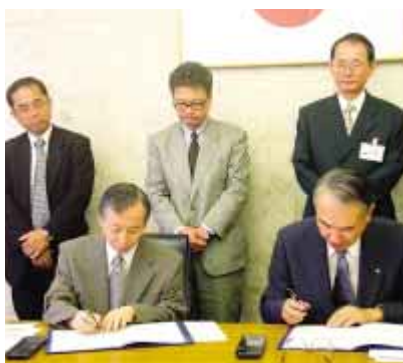
遼寧中医学院職業技術学院と留学生受入れに関する基本協定を締結

本学と中国の遼寧中医学院職業技術学院は、家政学、栄養学及び流通科学のより高い専門知識と技術を持つ人材を育成するために、遼寧中医学院職業技術学院からの留学生派遣に関する基本協定を締結した。

調印式は、平成16年10月13日、中国にて行われ、本学からは、藤本学長、城田短期大学部長、渡邊事務局長が出席。協定書には、遼寧中医学院職業技術学院の張慶豊学院長、本学の藤本学長が署名し、両校間の国際交流が発足することとなった。



薬膳科学研究所と福岡県工業技術センターが協定締結



本学の薬膳科学研究所と福岡県工業技術センターが、薬食同源を基本コンセプトとする食の機能とその健康効果の分野で、包括的な研究連携協定を締結することとなり、8月31日、本学において協定書の調印式が行われた。

この協定は、中国伝統医学とバイオテクノロジー等を活用した科学的に根拠ある薬膳研究と成果の社会還元に取り組んでいる薬膳科学研究所と、バイオ産業振興のため機能性食品等に関する研究開発を推進している福岡県工業技術センターの活動は、食を通じた人の健康増進という点で一致していることから結ばれたもので、両機関が相互に連携し、研究交流及び人的交流を促進することにより、食の機能性に関する研究高度化及び産業振興を図ることを目的としている。

学園往来

上海中医薬大学 張建中氏ら来訪

7月13、14日の2日間、本学との学術交流協定校である上海中医薬大学から、張建中校務委員会主任はじめ4名が来訪されました。一行は理事長、学長との懇談のほか、今年4月から開設した薬膳科学研究所



の見学、学内の関係者との学術・教育の交流に関する打ち合わせなど、短期間でしたが有意義な時間を過ごされました。

(大学 栄養科学部 教授 三成 由美)

7/31
8/31

オープンキャンパス

受験生をはじめ保護者、高校教員等を対象としたオープンキャンパスが、7月31日と8月31日の2回にわたって開催され、計3,171人が参加した。当日は、個別の入試相談、キャンパスツアー、各学部・科ごとの模擬授業、入試問題の傾向と対策、小論文講座など盛り沢山のプログラムに、参加した受験生らも大変満足した様子だった。



9/17

指導主任研修会

9月17日、「現代の若者の心を知る」をテーマに指導主任研修会が開催された。理事長による講話に引き続き、「現代の若者の心を知る」を演題とした川谷医院院長の川谷大治氏による講演と、本学幼児保育科の山崎篤講師から、学生相談室から見た学生の抱えている問題に関する報告が行われた。

9/17

教育ワークショップ

本学の教職員を対象とした教育ワークショップが、9月17日に開催された。テーマは「特色ある大学・短期大学部教育へのチャレンジ」。当日は、本学の統括学務委員長である藤田守教授による基調講演(演題「特色ある大学教育支援プログラムについて」)に引き続き、特色ある教育への取り組みについて各学部・科ごとに報告し、それを踏まえた活発な討論が行われた。

9/18
10/2・16

公開講座

今年で31回目となった公開講座が9月18日、10月2、16日の3回にわたって開催された。本年度は、「生活習慣病の予防－循環器病－」、「地球環境とこれからの人間生活を考える」、「子育てを考える－男性、父親として子育てを愉しむ－」の3つのテーマで計6講座を開講。参加した受講者へのアンケート結果では「身近なテーマなのでとても興味深く聞くことができた」、「講義だけでなく実習も交えた内容だったのでとても分かりやすかった」など満足度の高い評価をいただいた。



教員の出版物

著者は、本学教員のみ記載、()内は出版社、発行年月



エクセルナース14
検査編
津田 博子 共著
大学 栄養科学部 教授
(メディカルレビュー社 平成16年6月)



ライフサイクルで学ぶ生活福祉
佐々木 美智子 共著
大学 人間発達学部 助教授
(建邦社 平成16年6月)



エンデバーのためのバスケットボールドリル②
笠原 成元 全編監修
大学 流通科学部 教授
(ベースボールマガジン社 平成16年8月)



ビジネススクールのPC演習
佐原 寛二 編著
大学 流通科学部 教授
(中央経済社 平成16年10月)



中国近世の都市と水利
西岡 弘晃 著
大学 流通科学部 教授
(中国書店 平成16年5月)



Innovations of Knowledge Management
Michael Hall 共著
大学 流通科学部 講師
(IRM Press 平成16年7月)

日本消費経済学会(学術会議第3部登録学会)学会賞研究奨励賞

2004年度日本消費経済学会・学会賞研究奨励賞を受賞した。受賞に当たっては、マネジリアル・マーケティングの視点や論理展開やコンビニエンス業界、100円ショップ業界と呼子朝市における事例を取り上げた著書『マネジリアル・マーケティングの考え方と実際』(五紘舎、2003年)が主たる審査対象となった。



片山 富弘
助教授
(大学 流通科学部)

教職員の動き

採用人事(平成16年9月1日付)



入試課課員
平田 純一



教務課課員
米嶋 寛行

配置換え人事

(平成16年9月1日付)
庶務課課長 八尋 雅典
(入試課課長)
入試課課長 芹田 英樹
(教務課課長)

(平成16年10月1日付)
中村学園女子中学校・高等学校 事務室室員
石川 文子
(経理課課員)

退職人事(平成16年9月30日付)

入試課課員 間瀬田 純子

財団法人江頭外食産業及びホテル産業振興財団寄付講座ホスピタリティ論の開講について

本学流通科学部では、平成15年度に初めて、財団法人江頭外食産業及びホテル産業振興財団による寄付講座「ホスピタリティ論」を開講しましたが、今年度も9月から1月の間、計13回開講することとなりました。

今年度は新たに、東京ディズニーランドを経営している、(株)オリエンタルランド代表取締役専務取締役運営本部長の福島祥郎氏、UCC上島珈琲(株)代表取締役社長上島達司氏、ザ・リッツ・カールトン・ホテル・カンパニー日本支社日本支社長高野登氏等に講師を務めていただきます。

また、10月19日に行なわれた、九州在住のトップシェフ、ハウステンボス株式会社ホテル本部総料理長上柿元勝氏の授業では、講義と共に地元食材を使った現代フランス料理の実演もおこなわれました。

なお『ホスピタリティ論』の開講に当たっては、ホスピタリティの理論とその実践についての先進的教育を行うために、この分野の実践についてフロンティアであり優れた実績を残されている財団法人江頭外食産業及びホテル産業振興財団(理事長江頭匡一氏:ロイヤル株式会社創業者相談役)殿のご協力を得、講座の寄付を頂くとともに本講座の授業計画とその運用に多大なご協力を頂くことが出来ました。



▲ハウステンボス(株)ホテル本部総料理長 上柿元勝氏

第13回アジア栄養科学ワークショップ開催のお知らせ

大学及び大学栄養科学研究所主催による「第13回アジア栄養科学ワークショップ」が、下記のとおり開催されます。今回のワークショップでは『保健機能食品の研究開発』をテーマに、本分野をリードしておられる代表的な研究者をお招きして、現在までの進歩を解説していただくことしております。

皆様方の多数のご参加をお待ちいたしております。

- 日 時／平成16年11月27日(土)13:00~17:00
- 場 所／中村学園大学 西1号館 10階 大講義室
- 内 容 テーマ「保健機能食品の研究開発」

〔1〕講 演

- ① わが国における機能性食品の研究開発の動向
東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 清水 誠
- ② Recent Trend of Research on Healthy Foods Containing Hatomugi in Taiwan
台湾大学大学院食品科技研究所 教授 江 文章
- ③ 食品成分と発ガン抑制
京都府立医科大学大学院医学研究科 教授 西野 輔翼

〔2〕総合討論

- 参加費／無料(事前申込も不要です)

『笠井キミ子 ソプラノリサイタル』のご案内

本学短期大学部幼児保育科 笠井キミ子教授のソプラノリサイタルが、12月13日(月)、福岡銀行本店大ホールにて開催されます。プログラム等詳細は下記のとおりです。

- 日 時／平成16年12月13日(月)18:30開場・19:00開演
- 場 所／福岡銀行本店大ホール
- チ ケ ッ ト／3,000円(全席自由)
- 出 演 者／笠井キミ子(ソプラノ)、楠本隆一(ピアノ)、河原伴子(箏)、河原抄子(十七弦)、山崎望山(尺八)

● プログラム

- ・「小さな糸紡ぎ娘」(ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト)
- ・「競漕後のアンソレータ」(ジョアッキーノ・アントニオ・ロッシーニ)
- ・「宵待草」、「落葉松」(日本歌曲)
- ・「アヴェマリア」(ビエトロ・マスカニー)
- ・「私は野の草ではなかったか、Coq 47 No7」(ビョートル・イリイチ・チャイコフスキー)
- ・「小面幻想」、「花盗人」(平井康三郎)

- お問い合わせ・申し込み／福岡音楽文化協会

☎092-414-8306

http://www.f-onkyo.jp E-mail:f-onkyo@violin.ocn.ne.jp

編集

中村学園大学 中村学園大学短期大学部 学長事務室

発行日

平成16年10月31日

〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1 TEL.092-851-2531
[ホームページアドレス] <http://www.nakamura-u.ac.jp/>

学校法人中村学園は、学園祖中村ハル先生が設立され、昭和28年(1953)12月24日に福岡県知事の認可を受け、翌、昭和29年(1954)4月福岡高等栄養学校を設置し、中村学園がスタートしました。昭和29年(1954)4月の福岡高等栄養学校開学から、平成16年(2004)4月で満50年を迎えました。